

■ 児童が飼育員体験！

6月28日金曜日、「環境」について学んでいる大河津小学校の4年生が長岡市トキ分散飼育センターを訪れました。



今回の授業は「トキの飼育」についてです。普段入ることのできない施設で、飼育員と一緒に3つの作業工程を体験してもらいました。

まずは『エサづくり』。トキに毎朝与えている馬肉飼料を作りました。

凍った馬肉を金づちでたたき、砕いた肉に栄養剤、ゆでたニンジン、ゆで卵を殻ごと混ぜ合わせます。



生の肉の臭いに驚き鼻をつまむ児童もいましたが、みんな一生懸命手で材料をこね、機械でミンチにしてみました。

『監視カメラによる観察』では、飼育員からトキは非常に臆病で神経質なためカメラでトキの健康状態をモニターチェックしていることが説明されました。

児童は、きちんとエサを食べているかや病気やけがはしていないかなど、真剣にトキの動きをカメラで追っていました。



『施設内の見学』では、ヒナを人工飼育するための部屋や治療室の設備などについて説明を聞きました。



そして貴重なトキの卵の中身を見てもらいました！トキの卵の卵黄はニワトリの卵より赤みががががっているのが特徴です。

四角いケースに入れられた卵を見た児童は、「白の丸みたい！」と珍しい色に見入っていました。



児童たちは7月に佐渡を訪れ地元の小学生とトキを通じた交流を行います。

今回の体験を通して、自然環境保全の大切さやトキ保護の重要性などについて理解を深めてくれたと思います。そして、佐渡との交流が有意義なものになることを期待しています。

